

セミナー

気候変動 と 生物多様性



講演 1

「気候変動」
現況と影響予測
COP21 で決まったこと
生物多様性との関連

講師

江守 正多さん

国立環境研究 地球環境研究センター
気候変動リスク評価研究室長



講演 2

「生物多様性」
名古屋議定書と日本の状況
現況と影響予測
気候変動との関連

講師

井田 徹治さん

共同通信社 編集委員

2016年1月19日(火)
13時～16時半 開場12時半
京都市国際交流会館ホール
(最寄り 地下鉄蹴上駅)

鼎談

「気候変動と生物多様性 私たちにどのような行動が必要か」

井田 徹治さん 江守 正多さん 榎本 育生すき(環境市民代表理事)



認定特定非営利活動法人
環境市民
www.kankyoshimin.org

セミナー

気候変動 と 生物多様性

気候変動（地球温暖化）と生物多様性問題は、1992年の「地球サミット」以来、国際社会に広く認識され、様々な取り組みがなされています。しかし残念なことに状況は深刻さを増し、人類世界にも地域社会の未来にも大きな影を落としています。

気候変動と生物多様性は相互に深く関連しており、それに対応する条約も双子の条約として位置付けられています。ただ日本では、気候変動と生物多様性が関連付けて扱われることは、政策でも NPO・市民活動でも、さらに専門家の議論においてもあまり進んでいません。

しかし、気候変動と生物多様性を合わせてみることにより、地球規模の環境問題の本質をより理解することができ、解決に向けての行動に取り組む人々の輪を広げ、行動内容にも新たな視点をえることができるのではないのでしょうか。

2015年11月30日からパリで開催される気候変動枠組み条約第21回締約国会議では、京都議定書の次の世界的な取り組みの枠組み「パリ合意」が決定されます。この機会にあらためて、気候変動と生物多様性問題の本質、関連性、解決に向けての行動を考え、提案するセミナーを京都で開催することにしました。皆様のご参加をお待ちしています。

時期 2016年1月19日（火）

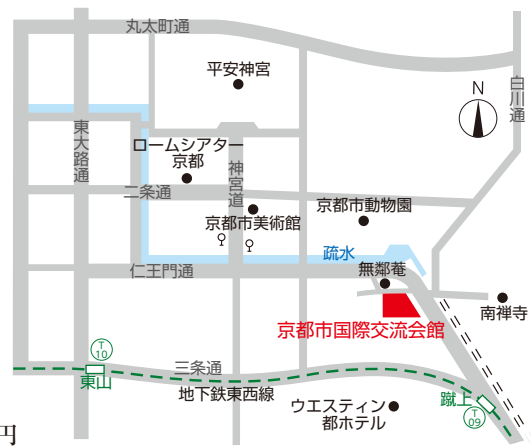
13時～16時半 開場12時半

会場 京都市国際交流会館ホール

最寄り駅・停留所 地下鉄「蹴上駅」徒歩6分
市バス5系統、100系統
「岡崎公園・美術館・平安神宮前」徒歩10分

対象 気候変動と生物多様性に関心のある市民・NPO、事業者、自治体等どなたでも

参加費（資料代） 一般 1000円
環境市民会員、KES 環境機構審査員・登録事業所、学生 500円



講師 江守 正多さん

1970年神奈川県生まれ。97年に東京大学大学院総合文化研究科で博士号（学術）を取得後、国立環境研究所に入所。地球環境研究センター気候変動リスク評価研究室長。

専門は地球温暖化の将来予測とリスク論。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次評価報告書主執筆者。

講師 井田 徹治さん

共同通信社編集委員兼論説委員。環境、エネルギー、開発問題を25年以上、取材し続けている。気候変動枠組み条約締約国会議、ワシントン条約締約国会議、生物多様性条約締約国会議など多くの国際会議取材し、世界各国での環境破壊の現状や環境保全、自然保護の取り組みなどを発信。

鼎談 「気候変動と生物多様性 私たちにどのような行動が必要か」

井田 徹治氏 江守 正多氏 杵本 育生（環境市民代表理事）

杵本 育生
（環境市民代表理事）



主催 認定 NPO 法人 環境市民

共催 NPO 法人 KES 環境機構

助成 公益財団法人京都オムロン地域協力基金

協力（予定） 気候ネットワーク CANJapan

名義後援（予定） 京都市 京都府 京都市環境保全活動推進協会 京都商工会議所 京都工業会
京都府地球温暖化防止活動推進センター 京のアジェンダ21 フォーラム

お申し込み できるだけ事前に下記にお申し込みください（当日満席の場合は予約された方を優先します）。

認定 NPO 法人 環境市民 life@kankyoshimin.org FAX 075-211-3521 TEL 075-211-3521

「気候と生物セミナー」申し込みとお伝えください。

お名前と連絡先（電話またはメールアドレス）、環境市民会員及び KES 審査員・登録事業所の方はその旨をお願いします。